科目名	キャリアデザイン１							年度	2026
英語科目名	Career Design 1							学期	後期
学科・学年	ゲームプログラミング科 1年次	必／選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	平林 久和	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ゲームアナリスト		

【科目の目的】

就職活動を目前に控え、その準備を行います。
就活の流れの理解、業界理解、業界の就職活動の特徴の理解、履歴書作成、面接対策、筆記試験対策を行います。
企業との連携により説明会の実施を行うこともあります。
模擬試験、模擬面接等も行います。

【科目の概要】

就職活動のためのキャリアパスの構築、履歴書・ポートフォリオ作成、筆記・面接試験対策等を行う。

【到達目標】

ゲーム業界、IT業界を正しく理解する。
就職活動の流れを理解する。
業界の就職活動の特徴を理解する。
履歴書を完成させる。
基本的な面接スキルを習得する。
筆記試験（SPI等）のポイントを理解する。

【授業の注意点】

授業中はメモを取ること。
適宜資料を配布するが、口頭のみの説明もあるので注意して聞くこと。
万一、遅刻や欠席の場合は必ず担任に連絡すること。
ただし、授業時限数の４分の３以上出席しない者は評価を受けることができないので注意すること。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル３ 優れている	レベル２ ふつう	レベル１ 要努力
到達目標 A	就活の流れを理解し、学科で準備した就活書類を理解している。	就活の流れを理解している。	就活の流れを理解していない。
到達目標 B	関連業界の仕事内容を理解し、志望企業を選定できている。	関連業界の業種、仕事内容を理解している。	関連業界の業種、仕事内容を理解していない。
到達目標 C	履歴書が完成している。	履歴書が不完全ながら書けている。	履歴書用がまったく書けていない。
到達目標 D	全ての筆記試験（SPI、CAB、GAB）の準備ができている。	筆記試験について一部の準備はできている。	筆記試験の準備ができていない。
到達目標 E	模擬面接を受けている。面接の対策ができている。	模擬面接を受けている。自分の課題を把握している。	模擬面接を受けていない。面接の準備ができていない。

【教科書】

筆記試験用のテキストを随時選定

【参考資料】

随時、レジュメ・資料を配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

履歴書などの提出物、及び随時行う確認テスト、模擬試験、模擬面接の点数をもとに評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	キャリアデザイン１	年度	2026
英語表記	Career Design 1	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	履歴書①	就職活動に備えて履歴書を作成する	1	個人情報	履歴書の個人情報箇所を記載する	3	
			2	自己PR	PREP法に基づき自己PRを作成する		
2	履歴書②	就職活動に備えて履歴書を作成する	1	ガクチカ	PREP法に基づき学校での取り組みを作成する	3	
			2	アタックリスト	志望順に受験企業のリストアップを行う		
			3	志望動機	第一志望企業の志望動機を作成する		
3	就職模擬試験	模擬試験で就活をイメージする	1	就職常識試験	就職常識試験を受験する	2	
			2	就職能力試験	SPIのWeb試験を受験する		
			3	自己表現	就活作文の添削試験を受験する		
4	業界説明	ゲーム業界、IT業界について	1	ゲーム業界	ゲーム業界のカテゴリーと就活を理解する	3	
			2	IT業界	IT業界のカテゴリーと就活を理解する		
5	就活準備	学科で使用する就活用の各種フォーマットを理解する。	1	就活の大まかな流れ	ゲーム科の就活の大まかな流れを把握する	3	
			2	就活準備	就活用フォーマットの説明とリンク設定		
6	筆記試験対策	IT企業で実施されるSPIの筆記試験対策講座	1	SPI対策講座	SPIの内容説明と対策について説明	1	
			2	SPI練習問題	小テストを行う		
7	筆記試験対策	IT企業で実施されるCABの筆記試験対策講座	1	CAB対策講座	CABの内容説明と対策について説明	1	
			2	CAB対策講座	小テストを行う		
8	社会人マナー	就活で必要となる電話やメールなどの社会人マナーを習得する	1	メールの書き方	ビジネスメールの書き方を習得する	2	
			2	電話のかけ方	就活を模した電話のやり取りを習得する		
9	面接対策講座	模擬面接を前に、面接の流れとマナーを理解する	1	面接対策講座	面接の流れとマナーを練習を交え習得する	2	
10	模擬面接	模擬面接を行い、面接試験に慣れる	1	模擬面接	模擬面接を受け、面接スキルを把握する	3	

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等　　随時、企業説明会なども実施する。